

# デジタルプラットフォーム時代における ヘルスケアの再定義

日時 2022. **3.14** (月) 12:30 - 16:00

## 場所

オンライン：zoom

オンサイト：慶應義塾大学三田キャンパス  
南館地下4階 2B42

## 参加申込

以下 URL からお申し込みください。

<https://forms.gle/Z2NToNn8k9jzrD6x8>



## 締切

2022年3月11日(金)

※お申込みいただいた方に3日前までに参加方法等のご案内を差し上げます。  
 ※参加上限人数に達し次第、申込期限にかかわらず新規申込みの受付を終了します。  
 ※新型コロナウイルスの感染蔓延状況に応じて、オンライン開催のみとする場合があります。

## プログラム (敬称略)

**開会挨拶** 安井 正人 (医学部教授・KGRI 所長)

**趣旨説明** 鳥谷 真佐子 (KGRI 特任教授)、河嶋 春菜 (KGRI 特任准教授)

**基調講演** 尾原 和啓 (フューチャリスト)「プラットフォームビジネスの観点から」  
 大北 全俊 (東北大学大学院医学系研究科准教授)「医療倫理の観点から」

**休憩  
特別展示** KGRI 発！嗅覚によるデジタルヘルストレニング「余薫」 (SDM 研究科ミラノスキークリーム)  
 システムの紹介と意見交換

**総合討論** 古川 俊治 (医師、大学院法務研究科教授)「医師・医事法学の観点から」  
 磯部 哲 (大学院法務研究科教授、KGRI 上席所員)「医事行政法学の観点から」  
 山本 龍彦 (大学院法務研究科教授、KGRI 副所長)「憲法・情報法学の観点から」  
 鳥谷 真佐子 (KGRI 特任教授)「システムデザインの観点から」  
 (モデレーター：河嶋 春菜)

**閉会挨拶** 山本 龍彦

ウェアラブルデバイスやヘルスアプリをつかって人々と医師等の専門家、行政の間をヘルスデータで繋ぐ ICT 医療や、個人の健康状態をリアルタイムで見守り一人ひとりにあわせた健康な生活へと手引きしてくれるシステムが構想されている。このような新しいヘルスケアシステムは、多様な患者の「参加型医療」や「インフォームドデジジョン」を支えたり、個人に自発的な健康向上を促したりするための試金石として期待されている。一方で、法的倫理的課題はないだろうか。課題を乗り越えるために、どのような技術や社会システム、法秩序が求められるのだろうか——。本シンポジウムでは、デジタル社会におけるヘルスケアのあり方を多様なアプローチで考える。



イベントに関する詳細・最新情報は、KGRI ウェブサイトのイベント案内ページをご確認ください。

問合せ先

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGRI)

「2040 独立自尊プロジェクト」事務局

Email : [kgri\\_2040pj@info.keio.ac.jp](mailto:kgri_2040pj@info.keio.ac.jp) (発信の際は[at]を@に置き換えてください)



Keio University